

あなたのまちと公園をよりよくしていくための ワークショップ ニュースレター No.1

【第1回】公園を使いやすくする方法を考えよう！

■開催概要

日時：2026年2月14日（土）
14：00～16：00

場所：ひらい人権文化センター
別館3階

参加者：5名

■ワークショップ内容

イントロダクション

- ・ 宝塚市のこれからの公園づくり
- ・ 公園区計画の役割
- ・ まちづくりについて公園が貢献できることについて説明
(内容はこちらに掲載)



旗揚げ式アンケート

- ・ 事前アンケートにより整理した、地域・山本野里公園の「**目指す姿(案)**」を共有
- ・ 旗揚げ式によって、参加者に案について、追加意見等を確認

グループワーク

- ・ 提示した「**目指す姿(案)**」を前提に、実現に向けた山本野里公園での**具体的取組、想定課題、課題解決のアイデア**について意見交換
- ・ グループ発表

■小学校区単位での開催と対象公園設定について

- ・ 長尾公園区は広く公園も多い
- ・ 地域の方はお住まいの小学校区外の公園は知らないし、利用することも少ない

※公園区 = まちづくり協議会
(概ね小学校区ごとにある)

- ・ 小学校区で分けてワークショップを開催
- ・ 長尾小学校区では、平井公園を対象公園に設定し、地域のみなさんの意見を確認



グループワークの様子



■旗揚げ式アンケート「地域・平井公園の目指す姿(案)についての意見」

【地域の目指す姿(案)】

子どもから高齢者まで安心して暮らせ、自然とにぎわいが調和した、
みんなが過ごしやすいまち

概ね良いと思う	4票
追加意見あり	1票

●案に対する意見

- ・災害時の機能があるといい

【平井公園の目指す姿(案)】

遊び・交流・自然・防災がそろった地域の中心となる公園

概ね良いと思う	4票
追加意見あり	1票

●案に対する意見

- ・高齢者も集まれるよう、使いやすくする
- ・自然の要素を高める(芝生の上を歩ける園路等)
- ・広い空間を活かし、スポーツを楽しめるところにする
この公園ならではの特別な要素を入れる

■グループワーク「目指す姿の実現に向けた平井公園での取り組み、想定課題、課題解決のアイデア」

方向性	課題	解決策
担い手づくり 地域による管理	公園アドプトの高齢化や参加者減少	1.新興住宅地の方や若い方に公園アドプトについて周知 2.公園アドプトを立ち上げ手続きの簡素化
	公園アドプトやボランティアへの参加方法が不明確	
防犯面の強化	植栽の管理が行き届いていない	1.地域で清掃や植栽管理。一斉清掃の際にボランティアを募り一緒に清掃 2.地域で管理できるように、公園アドプトやボランティアに権限を与えたり、管理ルールを設ける
利用ルール 花火の禁止	打上花火の音が大きく迷惑(現状花火禁止) 手持ち花火はOKという地域ルールをつくっても管理ができない。広報や看板で周知を図っても難しい	1.7、8月に広報、看板の強化を図る 2.地域で見守りを行う。ただし、注意等はせず、警察に届ける
	現在の看板には花火禁止も文言がない	
スポーツができる、広く使える	様々なスポーツができるほど広くない	花火禁止の看板の設置 種目ごとに曜日や時間を決める
機能追加・更新 スポーツができる、広く使える	遊具設置と広場確保のバランス	遊具増設を抑え広場を確保
	スポーツができるようにはなっていない	スポーツができるように整備
	ボールの飛び出し等の安全面への配慮が必要。現状、フェンスは南側にしかなく、高さは低め	1.現状のフェンスがあるところをボール遊び等の利用場所として位置づける 2.フェンスの新設や高さ変更については現状不要
安全に利用できるようにする	公園の中央にある樹木(遊具とグラウンドを区切る)は日影にもならず、広く使うには邪魔	樹木を整理
利用促進 滞在しやすくする	トイレが古く暗くて汚い	トイレの建て直し。明るくする
	日影、休憩できるところが少ない 藤棚は日影にならず、虫が落ちてきたり、手入れされて	日影、緑陰、ベンチを増やし休憩できるエリアをつくる
	夏の暑い時は遊びに行けない 高齢者が散歩できたり、集まれる場所がない	夏の暑い時でも利用できる設備を整備 1.芝生を歩けるようなエリアを整備(転んでも大きなケガせず、芝生の上でも休める) 2.芝生でゴルフをしないように看板を設置
地域の中心的な公園として来やすくする	自転車で来る人も多いが、駐輪場がないためいろんなところに停めている 駐輪場があれば遠方からも来るのではないか	現在活用されていないスペース(防火水槽やトイレの西側、藤棚)に駐輪場を整備する

他公園でできたらいいこと 高齢者が散歩できたり、集まれる / 芝生エリア

第2回ワークショップでは、上記のご意見をもとに、「どうすれば実現できるのか?」を考えます。
だれが、なにをやるのか、いつごろから始められそうか、みんなが安心して使うためにはどんなルールがあるとういかを話し合います。